日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

メンテナンス委員会活動紹介

1. 委員会概要

(1) 委員会名：メンテナンス委員会

(2) 参加会社：16社

(3) 役割・活動テーマ：

定款の理念に基づき、昇降機利用者の安全安心の確保を最重要課題として、昇降機のメンテナンス及び定期検査業務、災害時対応に関する諸事項について、研究及び標準化の検討を行っています。

2. 活動内容紹介

(1) 会議開催日：1回／月（第3週の金曜日）

(2) 委員の集合写真

※当日都合により欠席された委員もあり、委員全員の集合写真となっていませんのでご了承下さい。

(3) 今年度の活動計画

1) 昇降機のメンテナンスにおける労働災害の低減及び重篤災害の撲滅活動

2) 昇降機の関連法令改正、新基準などの既設昇降機への適用検討に関わる活動

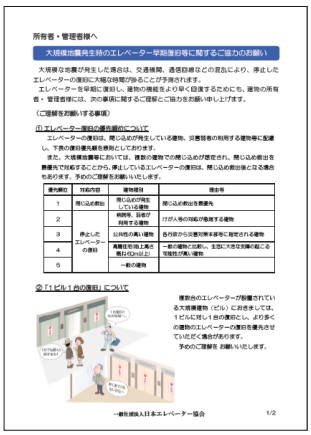
3)「大規模地震発生時のエレベーター早期復旧等に関するご協力のお願い」リーフレット作成

4) 定期検査報告支援システムの運用検討

3. 活動実績紹介

(1)「大規模地震発生時のエレベーター早期復旧等に関するご協力のお願い」リーフレット

多くの建物の機能をより早く回復するため、所有者及び管理者様にご理解とご協力いただきたいことをまとめたリーフレット「大規模地震発生時のエレベーター早期復旧等に関するご協力のお願い」を作成し、当協会ホームページに掲載しています。ご活用下さい。



所有者・管理者様へ

大規模地震発生時のエレベーター早期復旧等に関するご協力のお願い

大規模地震が発生した場合は、交通機関、通信設備などの混乱により、停止したエレベーターの復旧に大幅な時間が掛かることが予測されます。

エレベーターを早期に復旧し、建物の機能をより早く回復するために、建物の所有者・管理者様には、次の事項に関するご理解とご協力をお願い申し上げます。

（ご理解をお願いする事項）

①エレベーター復旧の優先順位について

エレベーターの復旧は、閉じ込めが発生している建物、災害弱者の利用する建物等に配慮し、下表の復旧優先順位表所に従っております。

また、大規模地震等において、建物の復旧での閉じ込めが想定され、閉じ込め救出を最優先で対応することから、停止しているエレベーターの復旧は、閉じ込め救出後となる場合もあります。予めのご理解をお願いいたします。

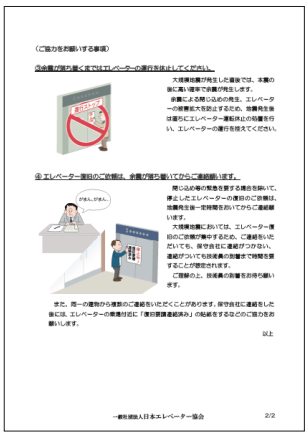
優先順位	対応内容	建物種別	理由等
1	閉じ込め救出	閉じ込めが発生している建物	閉じ込め救出を最優先
2	停止したエレベーターの復旧	病院等、災害対策拠点建物	けが人等の対応が最優先する建物
3		公共性の高い建物	各行政から災害対策本部等に指定される建物
4		高層住宅(地上高さ 31m以上)	一般の建物に比べ、全国に大きな災害の際に安全性が高い建物
5		一般の建物	

②「1ビル1台の復旧」について

複数台のエレベーターが設置されている大規模建物（ビル）におきましては、1ビルに対し1台の復旧とし、より多くの建物のエレベーターの復旧を優先させていただく場合があります。

予めのご理解をお願いいたします。

一般社団法人日本エレベーター協会　1/2



（ご協力をお願いする事項）

③余震が落ち着くまではエレベーターの運行を控えてください。

大規模地震が発生した直後では、本震の後に高い確率で余震が発生します。

余震による閉じ込めの発生、エレベーターの被害拡大を防止するため、余震発生後は暫くはエレベーター運転非出の状態を行い、エレベーターの運行を控えてください。

④エレベーター復旧のご依頼は、余震が落ち着いてからご連絡願います。

閉じ込め後の救急対策する場合を除いて、停止したエレベーターの復旧のご依頼は、地震発生後一定時間を置いてからご連絡願います。

大規模地震においては、エレベーター復旧のご依頼が集中するため、ご連絡をいただいても、保守会社に連絡がつかない、連絡がついても技術員の到着まで時間を要することが想定されます。

ご理解のと、技術員の到着をお待ち願います。

また、同一の建物から複数のご連絡をいただくことがあります。保守会社に連絡をした後には、エレベーターの乗降対応に「復旧要請連絡済み」の貼紙をするなどのご協力をお願いします。

以上

一般社団法人日本エレベーター協会　2/2

(2) 研修会の開催

安全、品質の管理方法などを幅広く勉強するために、昇降機に関係する企業、他業種の企業の工場を見学するなど、研修会を毎年開催しています。

2013年度：ワイヤーロープ製造会社

2014年度：自動車部品の生産会社

2015年度：地震感知器製造・販売会社

4. 委員会のPR

昇降機のメンテナンスに関わる、関連法令など（定期検査関連法令、維持運行管理指針など）が改正された場合、改正された内容の調査、研究を行い、広く周知していくことを目的に、日々取組んでいます。

また、昇降機のメンテナンスにおける労働災害の低減及び重篤災害「0（ゼロ）」を目標に、会員から報告された労働災害の分析及び対策の検討を行っています。